

1. 対象部材
内倒し窓用フック棒

略称：CJK フック棒

2. 標準(共通)化の部位
標準(共通)化の部位を図1に示す。

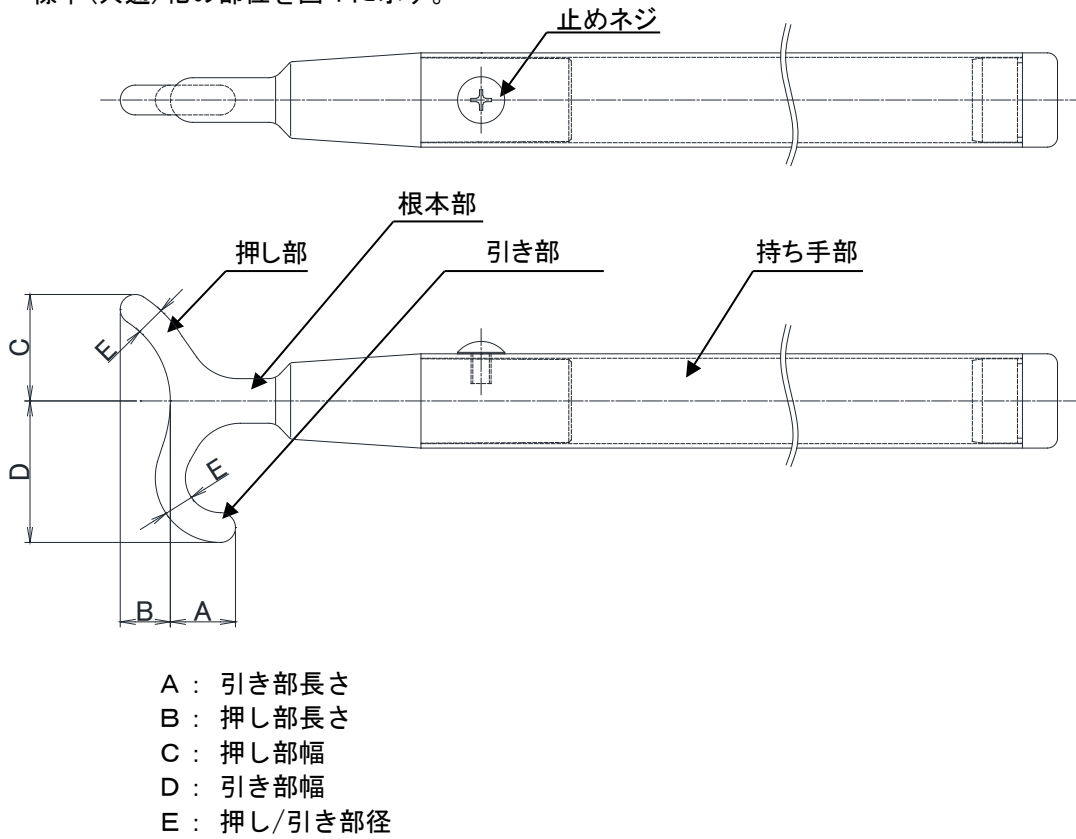


図1－標準(共通)化の部位

3. 寸法・形状
図1の各部位の寸法を表1に示す。

表1－各部位の寸法

単位：mm

項目	寸法
A : 引き部長さ	13.0
B : 押し部長さ	10.0
C : 押し部幅	21.5
D : 引き部幅	28.5
E : 押し/引き部径	Φ6.0

4. 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、長期使用対応部材であることを表示する。
または、「CjK」マークを表示する。

5. 特記事項

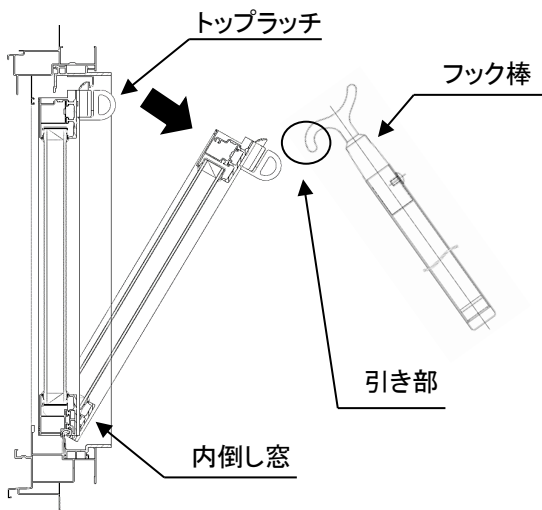
特に無し

6. 解説

- 6.1 フック棒の形状は図1に示す「押し部」と「引き部」から構成されるものとする。
形状についてはS形状等とするが、詳細は問わない。
- 6.2 本部材の使用例を以下に示す。

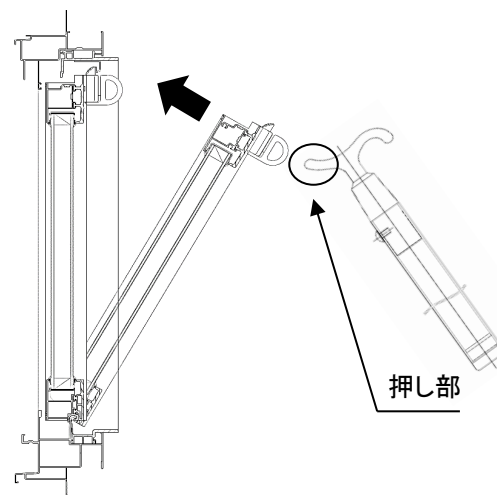
内倒し窓を開く場合

フック棒の引き部をトップラッチの
輪っかに挿入し引き下げ内側に窓を開く。



内倒し窓を閉める場合

フック棒の押し部をトップラッチの
輪っかに挿入し押し上げ窓を閉める。



7. 共通事項

7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記) 専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。